

【科目一覧（ポケット・ゼミ）】

◎:環境問題を主たるテーマとしたもの

科目名	環境関連キーワード	群	開講期	担当教員	曜時限
◆環境問題を考えるうえでの幅広い知識を身につける					
◇環境問題を俯瞰する					
◎ 環境の評価	環境の価値、環境意識、環境倫理	A	前	吉岡 崇仁	月5
◇「地球」について学ぶ					
地球:大気・海洋・固体・生物圏					
地球型惑星の環境地圏科学	地球型惑星、環境地圏、気候変動と河川地形	B	前	福岡 浩	木3
空を観る・海を観る	気象現象、海洋観測、エネルギー交換過程	B	前	林 泰一 ほか	集中
宇宙					
ゼミナール「活動する宇宙」	宇宙、惑星系、地球、生命	B	前	嶺重 慎	水5
地理・地域					
地域を科学する	日本の地域、歴史と現状、東日本大震災の復興	A	前	岡田 知弘	火2
フィールドから考えるー地域研究への招待ー	世界の多様性、地域の特徴、見る・聴く・話す	B	前	柳澤 雅之	火4
◇「自然・生態」について学ぶ					
生物・生命					
生態					
◎ 世界自然遺産の小笠原の自然と社会と文化	海洋島、環境保全、言語と歴史、固有種、外来種	B	前	石田 厚	水3
◎ 生物多様性と生態系系外調査からDNA実験・生態系ネットワーク解析まで	ゲノム、共生、環境問題	B	前	東樹 宏和	集中
動物					
植物					
植物を考える	植物、食糧問題、遺伝子、細胞	B	前	長谷 あきら	金5
水圏生物					
海産無脊椎動物ー分類群と形の多様性	分類学、形態学、海の動物	B	前	宮崎 勝己	集中
魚類心理学入門	海洋生物、水産資源、地球環境、食文化	B	前	益田 玲爾	水3
河口域の環境と魚類の生態学	河口域、環境、魚類生態学	B	前	山下 洋	集中
海岸生物の生活史	磯浜観察、漁港、漂着物、水族館など	B	前	久保田 信	集中
◇「人間・健康」について学ぶ					
人体・健康					
心理					
◇「歴史・文化・社会」について学ぶ					
文化・文明					
哲学・倫理					
◎ 人間とは何か?生命現象の自然科学的・哲学的基礎	人間科学、生命科学、哲学、自然科学	B	前	村瀬 雅俊	火5
政治・経済					
◆環境問題解決に向けたアプローチや実践例を学ぶ					
◇「技術・ハード面」からのアプローチ・実践例					
資源・エネルギー・廃棄物					
◎ ごみ問題と3R・循環型社会形成	ごみ問題、廃棄物、リサイクル、循環型社会	B	前	酒井 伸一	月5
◎ 地球と資源エネルギー	資源エネルギー(地球深部、海洋、バイオ燃料)	B	前	藤本 仁	木5
◎ エネルギーと環境のシステム学	エネルギー需給、環境保全、システム学、エネルギー学	A	前	手塚 哲央	月5
先進核融合エネルギーゼミナール	核融合、エネルギー問題	B	前	増田 開	月5
◎ エネルギー社会工学ゼミナール(豊かさとは何か)	豊かさ、幸福、社会、環境、エネルギー	B	前	石原 慶一	月5
再生可能バイオマス資源の形成と利用	バイオマス、木質、分子育種	B	前	梅澤 俊明	集中
エレクトロニクスの箱庭	パワーエレクトロニクス、太陽電池、LED	B	前	須田 淳	火2
小さな機械(マイクロマシン)の世界を探る	エネルギー、環境、地球規模の課題への貢献	B	前	田畑 修	火5
化学の方法論入門	持続可能な社会に向けた化学、エネルギー変換	B	前	松本 吉泰	火5
化学工学的思考	リサイクルの有用性、省エネルギー、物質・熱収支	B	前	長谷部 伸治	火4
酸素の化学生物学	地球環境の変化、生命の起源と進化、高エネルギー化合物	B	前	森 泰生	火4
有機分子たちを考えて日常生活を理解しよう	有機化学、日常生活、水と油、汚れと洗剤	B	前	年光 昭夫	火5
量子ビームの科学	脱炭素社会、エネルギー・環境分野、加速器	B	後	森 義治	水2
環境管理・情報・放射線					
◎ キャンパス周辺の自然環境の可視化と考察	自然環境、持続的社会、環境との調和	B	前	小池 克明	水4
環境と健康、疾病の関わりについて考える	環境、健康、疾病、環境汚染物質、影響評価	B	前	高野 裕久	木2
物質情報学入門	微量有害物質、化学分析、電子状態計算	B	前	河合 潤	金5
放射線と放射能	原子力、環境、福島原発、環境中の放射能	B	後	白井 理	火2
放射線ゼミナール	放射線の物理学・化学・生物学、医療応用	B	前	川本 卓男	月5
自然災害・防災					
地盤の科学入門	地盤災害、地盤環境、メタンハイドレード(エネルギー環境)	B	前	岡 二三生	水5
山地流域で学ぶ自然環境のしくみと防災	自然災害、自然環境、防災、防災実習	B	前	堤 大三	集中
みなとの歴史と防災	神戸港、阪神淡路大震災、現地	A	前	平石 哲也	集中
都市・地域・景観					
生活空間再生学ゼミナール	景観、文化財・環境の保全、安全な生活環境	B	前	神吉 紀世子	火5
現地で学ぶ京都の建築	京都、建築、環境	B	前	岸 和郎	集中
文化財建造物から見る木質の科学と技術	文化財、木造、木質、保存科学(京都)	B	前	藤井 義久	集中
鉄道と航空技術の歴史の旅	技術史、交通、社会環境、自然環境、地域社会	A	前	北條 正樹	水5
洛南の歴史景観と河川環境巡検	巡検、洛南の歴史景観、河川環境と治水	B	前	中川 一	集中
水環境管理					
京の水資源	京都、水資源、水辺環境、都市化、河川管理	B	前	角 哲也	月5
入門海岸海洋工学	海岸と海洋、地球温暖化、沿岸災害と対策	B	前	間瀬 肇	火5
日本海に遊ぶ	日本海、環境、生物、歴史、暮らし	B	後	上野 正博	集中
◎ 水辺の環境	水環境、川、海、琵琶湖、水害	B	前	細田 尚	集中
農業・食					
わが国の牛肉生産	牛肉生産、環境負荷、食の安全・安心	A	前	北川 政幸	集中
食卓から学ぶ生命科学	食、健康、味覚、生理学、生化学、生命科学	B	前	吉村 成弘	木5
環境農学論ゼミ	野菜菜、ブランド、市場分析、環境、食文化	A	前	吉野 章	金3
生活の中の野菜(見る、作る、食べる、考える)	野菜の安全性、品種、京野菜、調理と加工、漬け物	B	前	土井 元章	集中
食料・エネルギー生産のための工学	農業、ロボット、メカトロニクス、環境保全	B	前	飯田 訓久	火3
海洋環境微生物学ポケットゼミ	バイオ燃料、微生物、海藻類、持続可能な社会	B	後	澤山 茂樹 ほか	月3
動物と環境にやさしい科学をめざして	原発事故、地球温暖化、食品残渣	B	前	久米 新一	火3
林業・森林・木材工学					
森林の動態と再生	森林、再生、動態、環境、京都	B	前	安藤 信	集中
原生的な森林の働き	森の働き、原生的、再生研究林、環境	B	前	中島 皇	集中
木造校舎を造る:木の文化再生へ	木造校舎、ipod、伐採体験、木文化	B	前	柴田 昌三	火5
森を育て活かすー林業体験をとおして考える	林業、未来社会、森林資源利用、人工林	B	前	長谷川 尚史	集中
森のつくりだすもの	森林生態学、林業、物質循環	B	前	徳地 直子	集中
京をめぐる森と人の暮らし	京都市周辺域、森林植生、樹木の生態、景観	B	前	齋元 道徳	集中
林業の歴史	江戸時代、入会林野、京都近郊の山林史	A	後	松下 幸司	水2
北海道の森林	江原、植生、生態、林業	B	前	籠野 隆之輔	集中
森里海					
森里海のつながりを清流古座川に見る	森里海連環、古座川、自然、文化、粗	B	前	梅本 信也	集中
フィールド実習“森は海の恋人”	森里海連環、生物多様性、沿岸環境保全	B	前	長谷川 尚史	集中
C. W. ニコル“アファン”の森”に学ぶ	里山、植生管理、信州の森林、管理体験	B	前	柴田 昌三	集中
瀬戸内に見る森里海連環	瀬戸内、森里海連環学、徳山試験地、人と自然	A	前	中島 皇	集中
地域連環学入門	森里海連環、自然、環境、生物、文化	B	前	梅本 信也	集中
沖繩・久高島研究	祭祀、聖地、生態学	A	前	鎌田 東二	水5
◇「政策・ソフト面」からのアプローチ・実践例					
経済					
経済学入門	ミクロ経済学、国際経済学、環境経済学	A	前	岩佐 和道	火3
国際政治経済学	地球温暖化、国際政治学、国際経済学	A	前	坂出 健	金2
政策					
公共政策のための社会科学入門	公共選択、政治経済学、社会学、公共心理学	A	前	藤井 聡	火3
環境問題と法	環境法、廃棄物リサイクル、原発事故	A	前	深澤 龍一郎	火2
◇アジアやアフリカ等の世界各地における環境問題					
◎ アジア途上国の水環境・衛生問題	水環境、衛生、アジア、途上国	B	前	藤井 滋穂	水5
◎ アフリカの自然保護を考える	生物多様性、野生動物、アニミズム、里山	A	前	山越 言	火4
アフリカの人と植物の関わりを考える	民族植物学、農業国際協力、環境保全、NPO活動	A	前	重田 眞義	火4
中国の農村で何が起きているのか	農村、発展、資源移動、資源管理	A	前	伊藤 順一	火2
◇英語による環境関連講義等					